

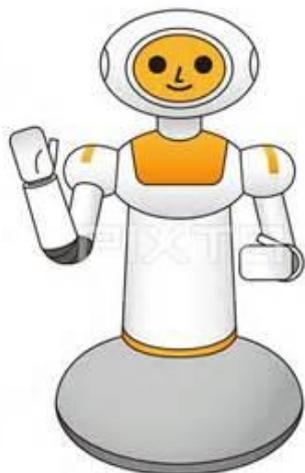
教育厚生委員会報告

2016 年月議会

2016 年度一般会計補正予算(第 4 号) 67 億 67 億円

第 137 号議案

☆高齢者福祉施設整備事業補助金 介護用ロボット等導入費 2,184 万円



介護職員不足は待遇の問題とともに労働環境にも原因があります。介護の仕事は重労働のため、健康を害して離職する人も多いのです。しかし実際の介護現場では、まだまだロボットの活用が広がっていません。そこで、介護サービス事業者が介護ロボットを導入し、介護職員の負担軽減や業務の効率化を図ることができるよう 1 事業所当たり 92 万 7 千円を上限に補助するものです。介護ロボットの有効性を周知し導入拡大につなげてもらうためのモデル事業です。

24 事業所が、移動支援、移乗支援、排泄支援、見守り等のロボットを導入することになります。

☆臨時福祉給金費 16 億 8,970 万円

2014 年 4 月からの消費税引き上げによる影響緩和策として所得制限付きの臨時福祉給金が過去 3 回実施されてきました。今回の補正は、2017 年 4 月からの経済対策分として支給されるそうです。支給対象見込み約 10 万 3 千人、1 人当たり 1 万 5 千円分を計上しています。全額国庫負担の国の事業とはいえ、給付事業のたびに 1 億円以上の人件費が必要になることを考えると、疑問もわきます。

☆民間病院施設整備費補助金 3,812 万円

休日や夜間などに長崎市域の救急患者を受け入れてもらっている「病院群輪番病院」の医療機器整備に対する補助です。今回、長崎記念病院と長崎百合の病院に、人工呼吸器や電気メス、超音波診断装置などが整備されるそうです。



☆(経済対策)小中学校整備事業費 3 億 4,221 万円

市内 33 の小中学校で、トイレの様式化や校舎の外壁改修工事、屋上の防水工事等が行われ、環境整備が進められることになりました。歓迎すべきことですが、子どもたちが活動する学校は、本来、経済対策補正予算としてではなく、日頃から維持補修が必要です。

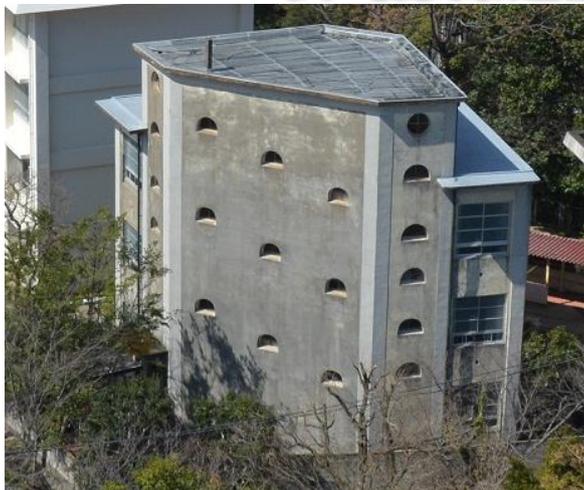
公の施設(日吉自然の家)の指定管理者の指定

今年 4 月にリニューアルした長崎市の「日吉自然の家」が来年から指定管理者によって運営されることとなりました。

指定管理制度移行にあたって、働く人の人件費圧縮につながらないように、また小学生が宿泊学習等で多く利用する施設であるため運営状況のチェックをきちんと行うよう意見が出されました。また仕様書において食堂事業は再委託ができるとされていますが、現在市が委託している食堂の評判が芳しくないため、改善を求める意見が出されました。



長崎原爆遺構旧城山国民学校校舎条例



今年 10 月に旧城山国民学校校舎が「長崎原爆遺跡」として国の史跡に指定されました。これを機に、多くの方々に見てもらい被爆の実相を広く発信するために、公の施設に位置づけ適切な保存と管理運営を行うこととし、条例を制定することとなりました。旧城山国民学校校舎の管理運営は長年ボランティアで案内を担ってこられた、卒業生や地域の方々で構成される「平和発信協議会」に行ってもらおう予定とのことです。

交通遺児教育手当条例の廃止(案)



長崎市は 1971 年から交通事故により親を失った義務教育期間中の児童生徒の保護者に対し、月額 3,000 円の教育手当を支給していました。

この制度が始まったころに比べると交通死亡事故の減少とともに支給対象者が減り、一方他の児童手当や奨学金制度等が充実してきたという理由で、手当を廃止するという条例案でした。

しかし、いま廃止しなければならない明確な理由が見当たらないこと、年間予算が 39 万円と市にとって大きな負担ではないこと、また奨学金などの制度は、給付ではなく貸与でありこの手当の代わりにはならないことなどの意見が出て、全会一致で否決されることとなりました。



市民病院の名称変更(長崎市立病院機構定款の変更)



成人病センターが統合され、新年の駐車場完成をもって新市立病院の工事が完了します。その際「長崎みなとメディカルセンター市民病院」という現在の名称から「市民病院」を削って「長崎みなとメディカルセンター」に変更するという議案です。

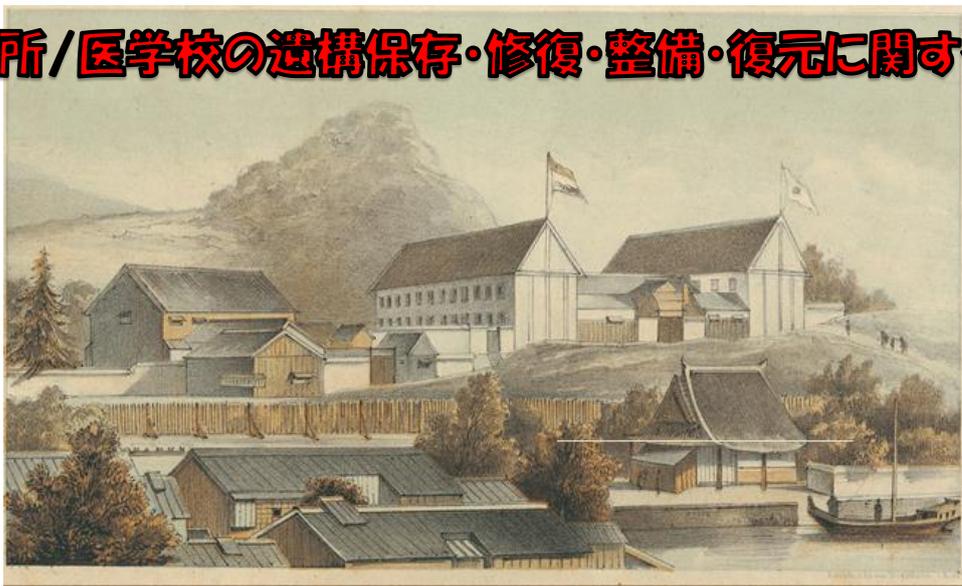
3年前、「市民病院」をつけないこの名称を病院機構が提案し否決。市民に親しまれた「市民病院」という名称を残すことでようやく名称変更にごぎつけた経緯があります。しかも、その当時の議事録には「成人病センターと統合しても『市民病院』という名称は残す」と時の部長が明言しているのです。

名前に固執するわけではありませんが、独法化されても「市民の病院」であるということをおぼれてもらっては困ります。それ以上に、大きな状況の変化もないのにわずか3年で部長が断言したことがひっくり返されるようでは行政の連続性に問題があります。

しかし、新病院として高度急性期医療の充実とそれを実現するためのスタッフの確保に努力をしているという実績が一定評価されて、可決となりました。

来年から市民病院は「長崎みなとメディカルセンター」が正式名称となります。

「養生所/医学校の遺構保存・修復・整備・復元に関する陳情」



旧佐古小学校にあった、養生所と医学校の遺構保存・修復・整備・復元に関する陳情が9月に引き続き今議会にも提出されました。養生所と医学校その他関連施設は日本の医学・薬学の発祥の地であり、出島に並ぶ貴重な文化財であり、保存すべきであるとのことのご要望です。

一方この土地は、長い話し合いを経て統廃合された仁田佐古小学校の新校舎建設予定地となっており、地元の方々の「いまさら」という思いも理解できます。

いま発掘調査が行われており、結論は今年度中に国の文化財に指定されるか否かにかかっているようです。委員会で現地調査を行いました。



いよいよ今年も押し迫ってまいりました。

この1年、市民のみなさまには大変お世話になりました。

**来年も、市政のチェック機能としての役割を
市民クラブ一同、しっかり果たしてまいりたいと思います。**

何卒皆様のお力添えを賜いますよう

宜しくお願いいたします。

どうぞよいお年をお迎えください

